

平成 29 年度 第 1 回身延町総合教育会議 議事録（要旨）

日 時 平成 29 年 10 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

場 所 身延町役場本庁舎 第 1 会議室

出席者 身延町長 望月幹也

身延町教育委員会

教 育 長 鈴木高吉

教育委員 片田 駿三

教育委員 今村 文子

教育委員 若狭 千春

教育委員 佐野 邦夫

（事務局関係）

政策室長 遠藤 基

政策室 企画政策担当副主幹 幡野 弘

政策室 企画政策担当主査 望月 俊宏

（教育委員会事務局）

学校教育課 課長 伊藤 克志

学校統合推進担当主幹 高野 修

教育総務担当主幹 深沢 泉

学校教育担当副主幹 天野 芳英

生涯学習課 課長 高野 博邦

生涯学習課主幹 深沢 教博

生涯学習課副主幹 曾谷 英輝

生涯学習課主査 深沢 広太

次 第

1 開 会

2 町長あいさつ

3 協議事項

（1）身延町教育大綱の取り組み状況について

（2）平成 30 年度教育行政への取り組みについて

①学校教育関係 ②生涯学習課関係

（3）その他

4 閉 会

1 開 会（政策室長）

2 町長あいさつ

3 協議事項（座長・町長）

（1）身延町教育大綱の取り組み状況について

（町長から）

- ・小中学校後期統合計画の進捗状況と、ICT環境の充実と効果等について、説明を求める。

（教育委員会）

- ・小中学校後期統合計画は、身延小学校及び大河内小学校の統合を残すのみとなっており、統合に向けた準備は順調に進んでいる。
- ・既に統合している学校におけるプラス効果を多く聞いているが、引き続き注意していく。
- ・平成28年度、中学生に1人1台のタブレットパソコンの整備、平成29年度には小学生5、6年生に1人1台になるよう整備させていただいた。
- ・児童、生徒ともに前向きに学習に取り組んでいる。また教員も工夫しながら対応している。
- ・スポーツの推進について、下山小プール解放事業では昨年度より利用者が増えている。芸術文化の振興では、木喰生誕300年特別展の取り組みや、総合戦略に位置付けられている西嶋和紙のPR強化を推進している。

（2）平成30年度教育行政への取り組みについて

（教育委員会から）

- ・学校教育関係として、①町単教諭の継続配置について②事務処理の効率化の対応機器導入についての説明。

（町長）

- ・①町単教諭の配置については既に今年度も実施されている。次年度も同様に進めていただきたい。
- ・②事務処理の効率化の対応について、機器を導入することにより教員が児童、生徒と向き合う時間が増えるのであれば重要であり、必要性を感じる。

（教育委員会から）

- ・生涯学習関係として、①木喰生誕300年記念特別展の開催について②スポーツ拠点づくり推進事業（スタンドアップパドル）の取り組みについての説明

（町長）

- ・①②ともに各種助成金等の活用を検討し財源を確保しながら進めていただきたい。

（3）その他

（町長から）

- ・身延町立学校施設整備計画策定業務の進捗状況について説明を求める。

(教育委員会)

- ・今年7月に発注した。現在策定中で、今年度中に完成するため資料はない。中学校の校舎については、身延中学校新校舎建設検討委員会からの提言、議会から意見書が提出され、協議の結果、町の中央付近に建設する方向で検討することとしている。

(町長)

- ・成果品納入後、教育委員会において分析する中でスケジュール調整等対応していく。

(教育委員会から)

- ・生涯学習関係で①テニスコートの全天候型整備、②健康づくり拠点施設の整備、③現代工芸美術館の今後のあり方について、説明

(町長)

- ・①テニスコートの整備だが事業規模から事務事業の事前評価の対象になってくると思われる。環境面の充実の必要性は感じるが、学校施設整備計画策定に係る部分もある。財源の確保も含め検討していただきたい。
- ・②町民や高校生からも施設（スポーツ面も含め）整備の話は聞いており、必要性は感じている。直ぐに施設整備というわけにはいかないと思うが、近隣の施設を身延町民が利用しやすくする働きかけをするなど検討をしていく。
- ・③教育委員会と同様、当初の目的、役割は達成、終えてきているのかもしれない。次年度以降、運用について検討していきたい（他の施設も含め）。

(教育委員会から)

- ・身延南部地域中高連携事業についての説明、進捗状況報告

(町長から)

- ・町営バスの路線運行について、高校生の通学に利用しやすく路線、時刻の見直しを行った。便利な運行を心掛けます。